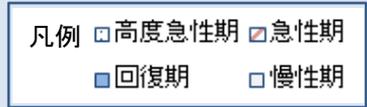


平成29年度病床機能報告結果(速報値)

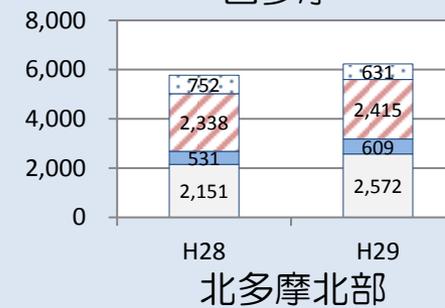
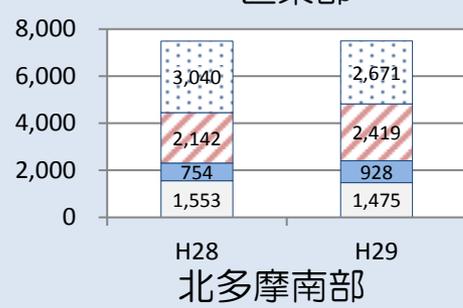
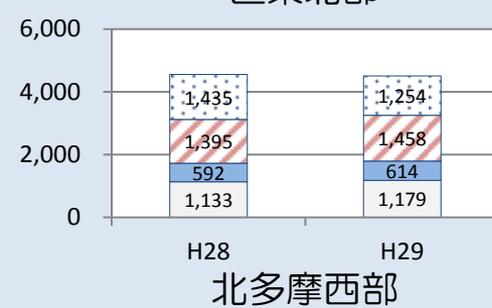
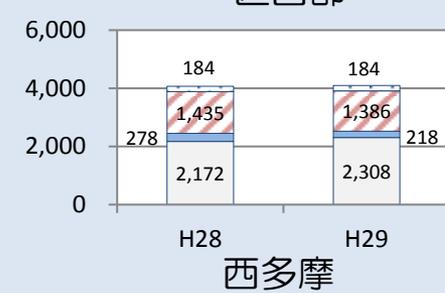
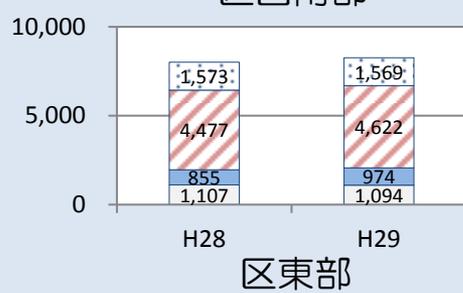
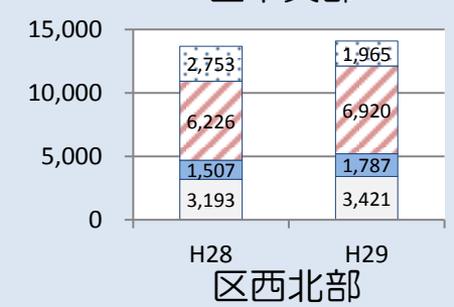
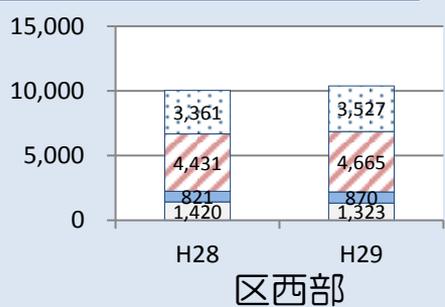
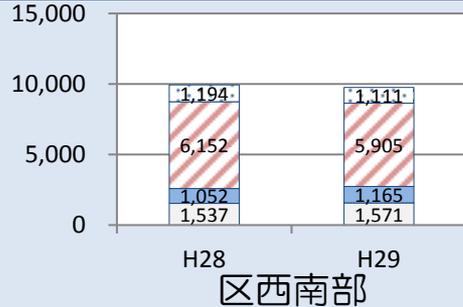
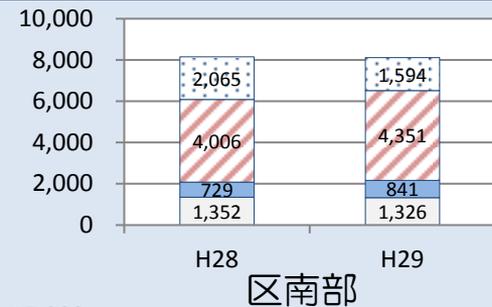
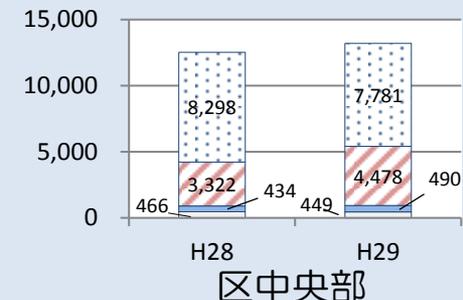
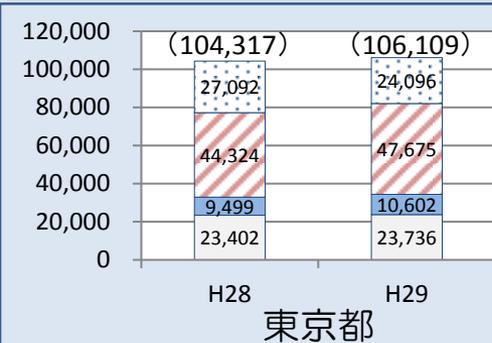
H28-29比較 <4機能別許可病床数>



<結果の概要(東京都)>

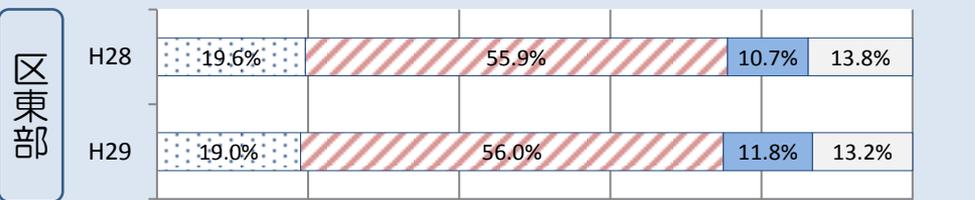
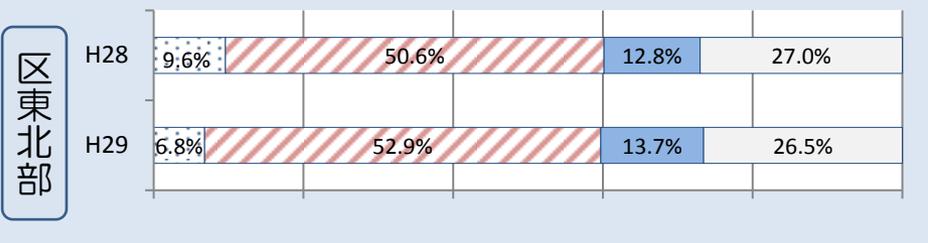
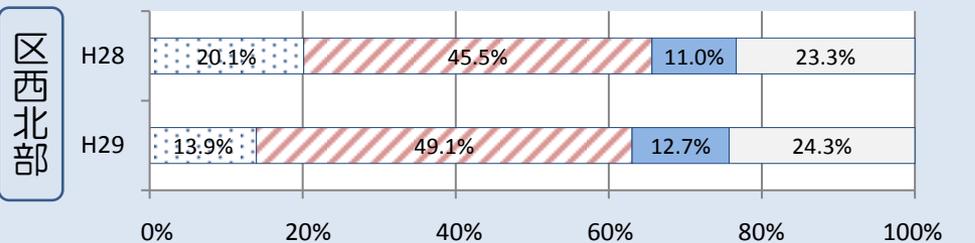
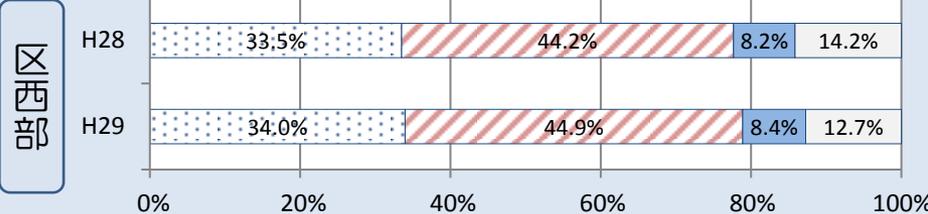
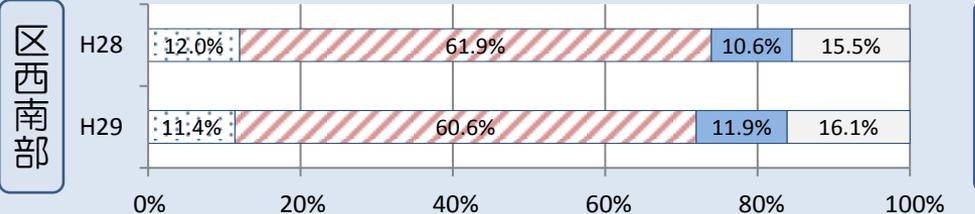
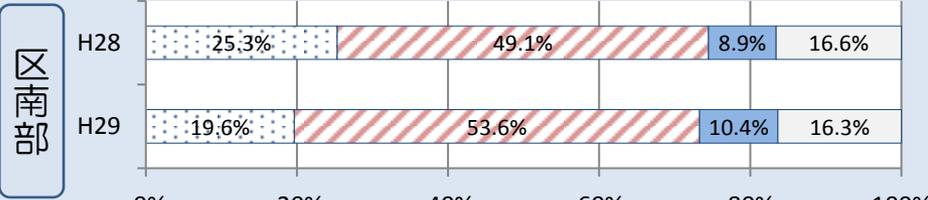
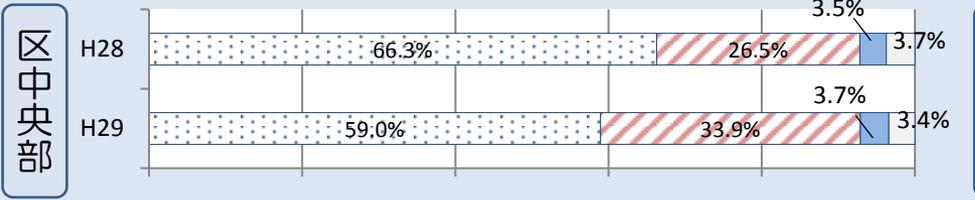
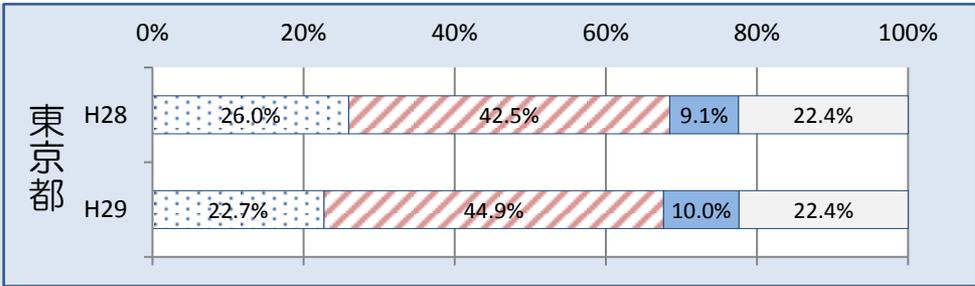
○平成28年度結果に比べ、病床数全体は、1,792床増

(機能別増減) 高度急性期機能	2,996床減
急性期機能	3,351床増
回復期機能	1,103床増
慢性期機能	334床増



平成29年度病床機能報告結果(速報値)

H29-28比較 <4機能別許可病床数の割合／区部>

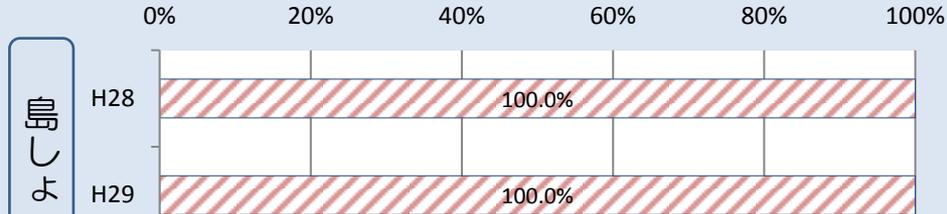
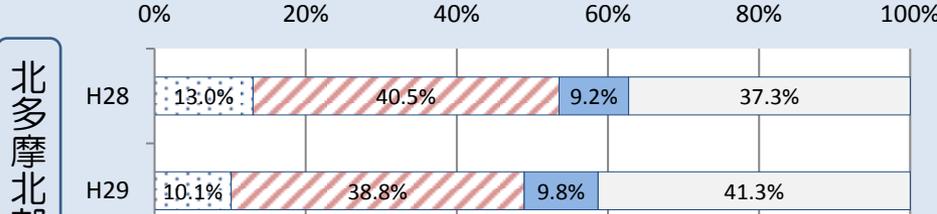
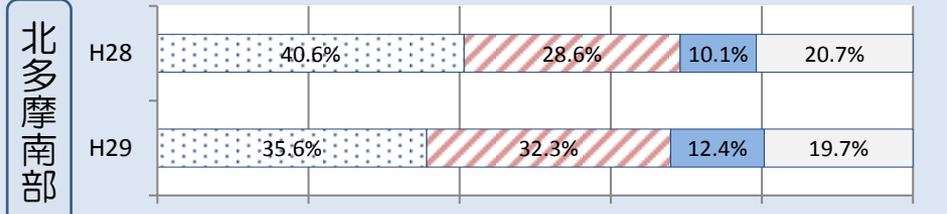
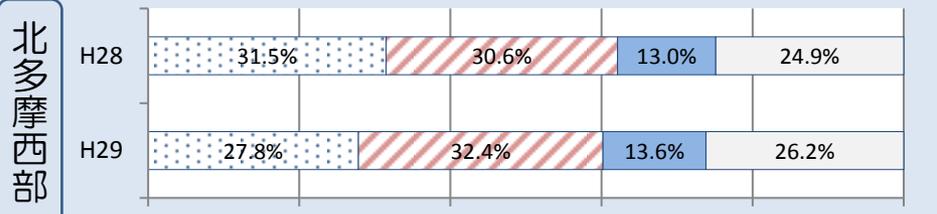
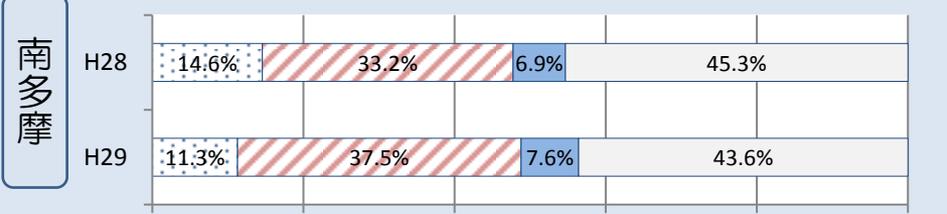
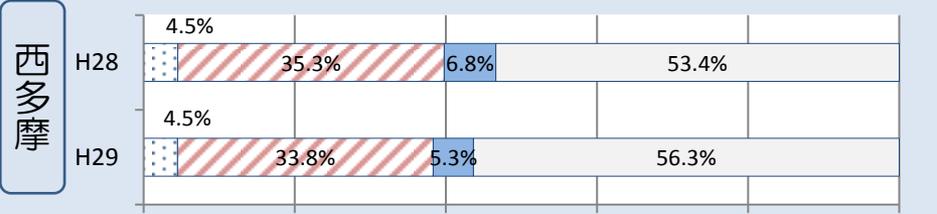


凡例

- 高度急性期 (Dotted pattern)
- 急性期 (Red diagonal stripes)
- 回復期 (Blue)
- 慢性期 (White)

平成29年度病床機能報告結果(速報値)

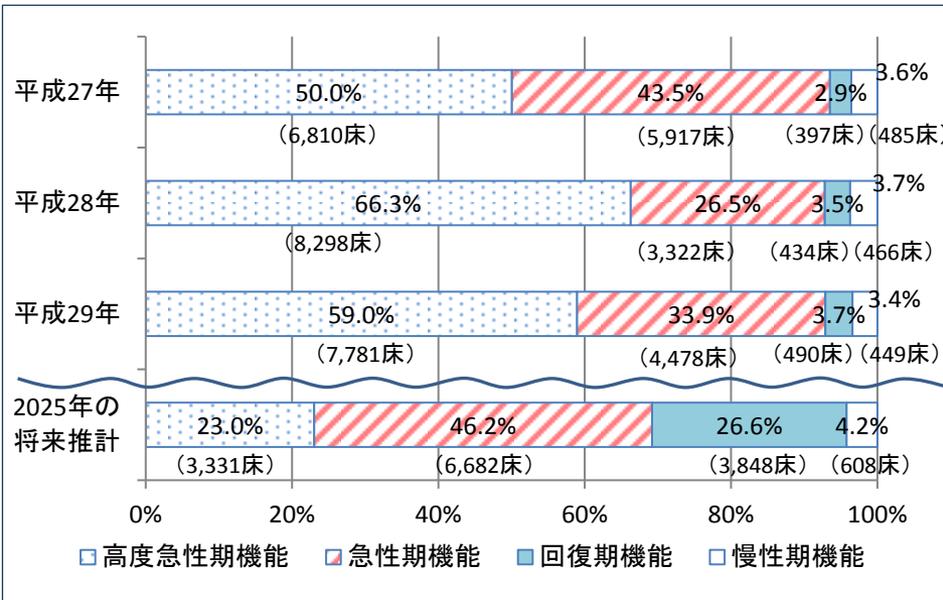
H29-28比較 <4機能別許可病床数の割合／多摩・島しょ>



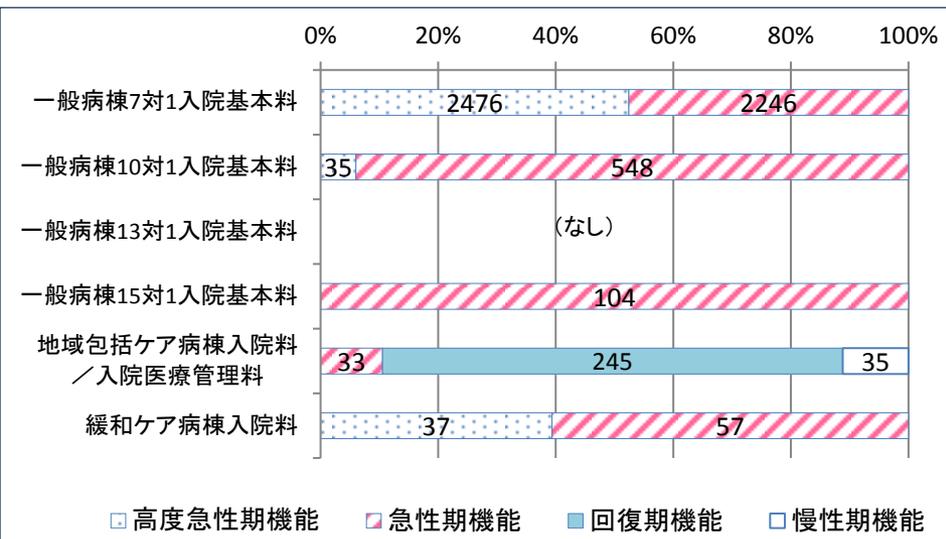
凡例

- 高度急性期 (dotted pattern)
- 急性期 (diagonal stripes)
- 回復期 (solid blue)
- 慢性期 (solid light blue)

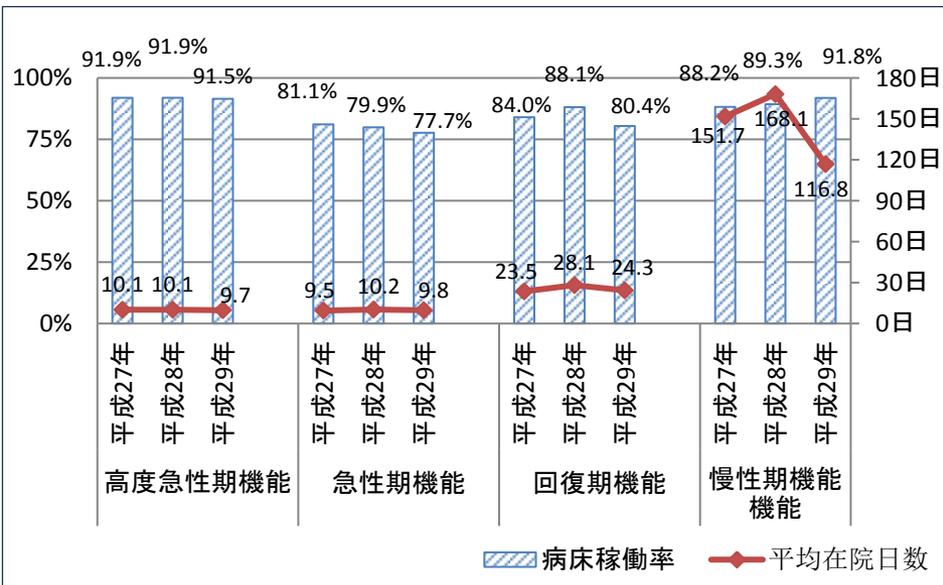
①4機能別病床数の推移(平成27年度～平成29年度)



③入院料×機能



②病床稼働率と平均在院日数の推移(平成27年度～平成29年度)



④退院後1ヶ月以内に在宅医療を必要とする患者の割合

	在宅医療を必要としない患者(死亡退院を含む)	自院が在宅医療を提供する予定の患者	他施設が在宅医療を提供する予定の患者	在宅医療の実施予定が不明の患者
高度急性期機能	12,532 (85.6%)	103 (0.7%)	1,887 (12.9%)	110 (0.8%)
急性期機能	8,341 (96.0%)	74 (0.9%)	222 (2.6%)	55 (0.6%)
回復期機能	380 (83.0%)	4 (0.9%)	47 (10.3%)	27 (5.9%)
慢性期機能	54 (69.2%)	6 (7.7%)	11 (14.1%)	7 (9.0%)

⑤退院調整部門を置いている病院の割合 65.2%(前年度64.6%)

- ①高度急性期・急性期機能で、各年度の報告内容の変動が大きい。
- ②全機能で在院日数が短縮しているが、病床稼働率が上昇したのは慢性期機能のみ
- ③7:1病床で、高度急性期機能と報告した割合が半数を超える。地域包括ケア病棟で、回復期機能と報告した割合が高い。緩和ケア病棟は、高度急性期・急性期機能として報告されている。
- ④回復期機能で、退院後に在宅医療を必要としない割合が高い。
- ⑤退院調整部門の設置割合が都平均を上回った。